⑥振動の少ない舗装材

振動の少ない舗装材は、舗装材同士を側面で接続することにより、舗装材の継ぎ目の段差ができにくくしてあります。また、舗装材の表面に小さな溝を設けることで、小さな振動が連続し、舗装材の継ぎ目の段差が気にならないように工夫してあります。

振動の少ない舗装材

⑦誘導ブロックとマンホール

誘導ブロックは、基本的に連続して設置することが求められます。わかりやすく誘導するためには、マンホールの上に貼ることのできる製品を使用して、迂回させずに真っ直ぐ設けることが望ましいでしょう。

マンホールを迂回させて誘導ブロックを設置した例

⑧交差点付近の誘導ブロック

横断歩道の手前では、停止線として点状ブロックを２列並べるのが一般的です。

また、交差点などの分岐箇所には、点状ブロックを設置して注意を促し、分岐箇所の中心から横断歩道の中心に向けて、なおかつ横断歩道の軸線に合わせて線状ブロックを並べます。これは、横断歩道を渡る際に進行方向を間違えにくくするとともに、できるだけ横断歩道の中央部を歩くように誘導するためです。

交差点付近の誘導ブロック